

令和元年度市長のまちづくりふれあいトーク議事録(仏生寺地区)

日時 令和元年10月3日(木) 18:30～19:45
 場所 仏生寺公民館
 出席者 仏生寺地区住民 56名
 市長、企画政策部長、総務部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、
 消防参事(消防長代理)、防災・危機管理監、事務局7名
 内容 18:00～18:35 市長あいさつ
 18:36～19:05 市政の概要について 市長説明
 19:06～19:20 ケーブルテレビ光サービスへの切り替えについて 企画政策部長説明
 19:20～19:25 地区の事業概要について 事務局説明
 19:25～19:40 意見交換
 19:40～19:45 閉会あいさつ

No.	質問の内容	回答
1	<p><能越自動車道でのサービスエリア整備について> 惣領地区 男性 仏生寺地内に氷見南インターが整備されたことで能越自動車道が利用しやすくなった。 市内には、石川県との県境にパーキングエリアが上下線それぞれに一箇所ずつあるが、志賀原子力発電所で災害が発生したときのために、市内に避難場所を兼ねたような新たなサービスエリアがあれば良いと思う。サービスエリアがあれば地域の活性化にもつながると思うので、検討いただきたい。</p>	<p>市長 能越自動車道については、まずは4車線化を国に要望している。氷見南インターは無料区間にあるダイヤモンド型インターチェンジであり、高速道路を乗り降りしやすい利点がある。その利点を生かし、将来的には、氷見南インター近くに道の駅や農産物の直売所を兼ねた休憩施設があれば良いと思うので、今後、実現性について検討していきたい。</p>
2	<p><能越自動車道に関する整備について> 鞍骨地区 男性(市長の回答を受けて) 昨年度、自治振興委員連合会視察研修で、中央自動車道中津川インター周辺にある農産物の直売所とレストランを兼ねている施設を視察したが、非常に賑わっていた。そのような施設について、氷見南インター周辺の開発の参考にさせていただきたいと思う。 まずは、氷見南インターへのアクセス道路の早期整備をお願いしたい。併せて能越自動車道の4車線化もお願いしたい。</p>	<p>市長 アクセス道路については、今年、仏生寺、布勢、十二町の3地区から要望をいただいている。来年度、県で詳細な計画を策定してもらえよう、市で構想を取りまとめ、県に働きかけていきたい。 4車線化については、国土交通省及び北陸地方整備局に要望し、突っ込んだ議論をしているが難しい。難しい理由としては、高速道路の4車線化については、有料区間での実績はあるが、無料区間での実績がない。 しかし国は、4車線化の基準として一日1万台の交通量を目安としているが、昨年、氷見インター～高岡インター間の交通量が一日1万台を超えたため、この基準は満たしている。 制度上難しいこともあるが、国や県と相談しながら、なんとか無料区間での4車線化を早期に実現したい。 氷見南インター周辺の開発については、どういったことができるのか、しっかり検討していきたい。</p>
3	<p><氷見市立図書館の駐車場について> 惣領地区 男性 以前、氷見市立図書館を訪れた際に、イベントが開催されていたため、駐車場がいっぱいで駐車できなかった。氷見市立図書館周辺は、駐車場が不足しているように感じる。</p>	<p>教育次長 今年度から氷見市立図書館に隣接する氷見市民会館の解体事業が開始される。解体後に整備予定の「ひみ発見館広場(仮称)」と共に、図書館周辺の駐車場確保についても、検討していきたい。</p>

	質問の内容	回答
4	<p><路線バスの最終便について> 同上 惣領地区 男性 仏生寺経由の路線バスを通勤で利用しているが、最終便が午後7時の時間帯である。最終便が午後8時の時間帯であれば助かる。</p>	<p>地域振興課長 路線バスについては、バス会社が便数を増やそうと思っても、運転手をなかなか確保できないという課題がある。 近年、バス会社からは、利用実績があまりない時間帯の路線バスについて、減便の申出があり、市としても「バス会社の経営状態」と「市民の利便性」を考慮し減便を了承している。 バス会社には、常々市民の皆様の足である路線バスを維持してほしい旨を伝え、頑張ってもらっている。路線バスを守っていくためにも、皆様にはご利用いただきたい。</p>
5	<p><吉池地区における災害復旧工事について> 吉池地区 男性 吉池地区における災害復旧工事について、工事直後にも係わらず、そのうち2箇所が先日の大雨で破損した。設計もしくは施工においてミスがあったのではないかと？</p>	<p>建設部長 原因を調査し、今後、同様の破損がない様、復旧に努めていきたい。</p>